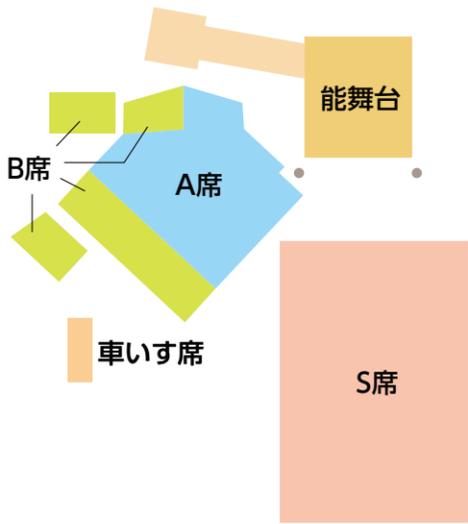




問合せ **文化振興係** ☎5984-1284 FAX 5984-1228
 ※チケット販売に関する問い合わせは練馬文化センター ☎3993-3311。

昨年の様子

座席図



料金

S席:6,000円 A席:4,000円 B席:2,000円
 車いす席:1,000円(同伴者1名は無料)

チケットの申し込み方法(抽選)

▶**対象:**区内在住・在勤(在学)の小学生以上
 ▶**申込:**練馬文化センターホームページまたは往復ハガキで①みどりの風 練馬新能②座席(S・A・B・車いす席の別)③参加者全員(2名まで)の住所(区外在住の方は勤務先・学校名も)・氏名(ふりがな)・電話番号④引き換え方法(窓口引換・郵便振替の別)を、6月20日(必着)までに〒176-0001練馬1-17-37 練馬文化センターへ
 ※申し込みは1人1通です。 ※結果は7月2日(火)ごろに通知します。 ※座席は選べません。



注意事項など

- 雨天時は練馬文化センターで実施します。その場合、座席位置が変わります。開催場所は、当日午後1時以降に区ホームページをご覧ください。
- 公演中止以外の理由では、チケットの払い戻しはできません。
- 内容は予告なく変更することがあります。
- 聴覚障害のある方にはスマートフォンなどを使って、視覚障害のある方にはイヤホンガイドを使って鑑賞をサポートします。希望する方は、6月20日(木)までに文化振興係へお問い合わせください。

演目のあらすじ

※公演の冒頭に解説があります。

能「天鼓 弄鼓之舞」

中国・後漢の時代。少年・天鼓は、天から降った美しい音色の鼓を皇帝に差し出すことを拒み、山中に逃げるが捕らえられ呂水という川に沈められてしまう。鼓は宮中に運ばれるが、誰が打っても音が出ない。皇帝は使者を天鼓の父・王伯のもとに派遣し、宮中へ来て天鼓の鼓を打つように命じる。わが子を失い、悲嘆に暮れていた王伯が鼓を打つと、鼓は妙音を発する。皇帝は喜び、王伯にあまたの宝を与えて帰らせる。皇帝が呂水の土手で天鼓を供養する管弦講(演奏で死者を供養する儀式)を行うと、天鼓の霊が現れ…。

前半では、天鼓を失った王伯のわが子への情愛や別れの愁嘆が描かれますが、後半は一転し、芸術に遊ぶ天鼓の自由闊達な精神が軽快に表現されます。天から降った不思議な鼓が置かれた舞台上で展開する、王伯と天鼓の対比的な演技も見どころです。



狂言「樋の酒」

主人が太郎冠者に米蔵、次郎冠者に酒蔵の見張りをしよういつけて出かける。次郎冠者が早速酒蔵の酒を飲み始めるので、太郎冠者はうらやましくて仕方がない。そこで次郎冠者は、酒蔵から米蔵へ樋(竹製の管)を渡して酒を流し、太郎冠者にも飲ませることに成功する。すっかり調子に乗った二人は…。

舞台と橋掛かり(通路)を蔵に見立て、能舞台ならではの構造をうまく活かした狂言です。樋から酒を飲む場面では、にぎやかな狂言小舞がいくつも登場する酒宴も見どころです。



関連イベント 能楽体験ワークショップ

所作(すり足)や謡の体験を通じ、能を身近に感じることができます。▶**対象:**小学生以上
 ▶**定員:**各30名(先着順)▶**申込:**区ホームページまたは電話で文化振興係へ



日時	場所
㉗7/27(土)14:30~16:00	勤労福祉会館
㉘8/6(火) 14:30~16:00	光が丘区民センター3階
㉙9/15(日)14:30~16:00	区役所アトリウム地下多目的会議室

